

## 府中市における「地域福祉・福祉のまちづくり」に関する現況と課題（案）

## I 福祉をとりまく府中市の現状

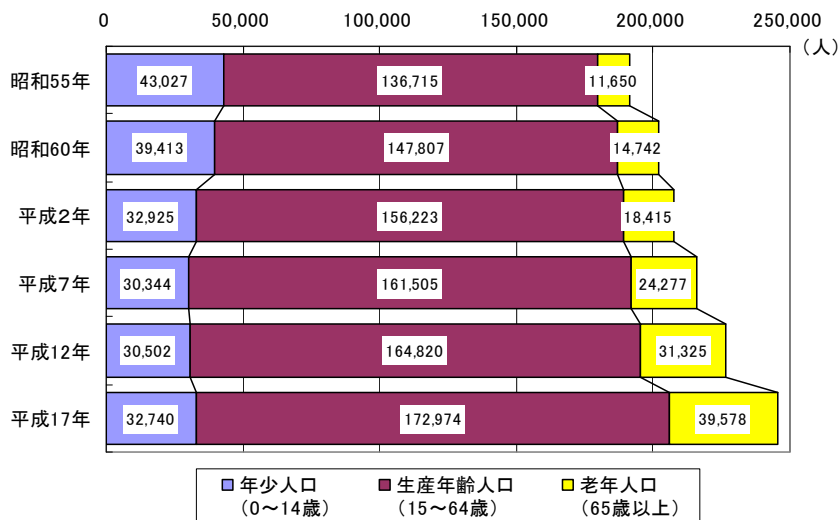
新たな福祉計画における地域福祉の課題を明らかにするため、人口、世帯等のデータや福祉エリア別の状況などから、少子高齢化が進む近年の府中市の市民像と福祉に関連する市民生活の現状をまとめる。

## 1 人口・世帯の状況

## (1) 人口の推移

- 府中市の人口は、増加しており、とくに65歳以上の老年人口は平成12年から17年の5年間で8千人以上増加している。

図表：人口の推移（府中市）

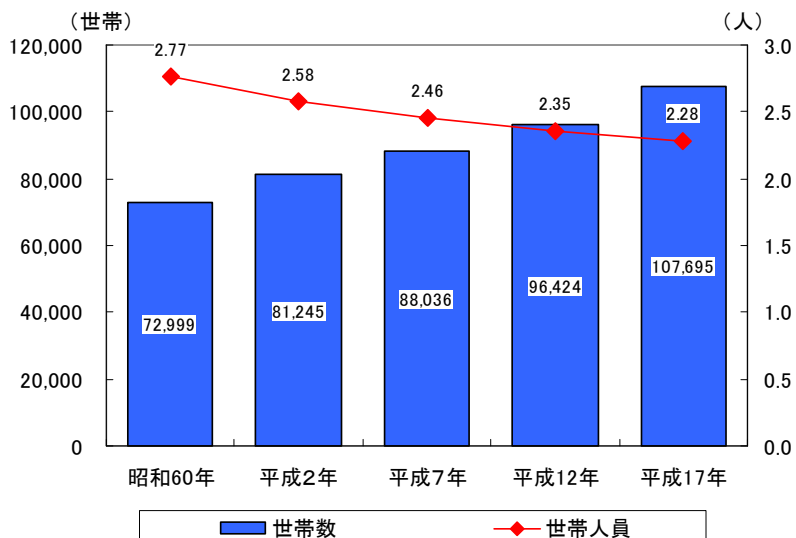


出典：国勢調査

## (2) 世帯数及び世帯人員の変化

- 府中市の世帯数は増加、世帯人員は縮小傾向にあり、小世帯化が進んでいる。

図表：世帯数及び世帯人員の推移（府中市）

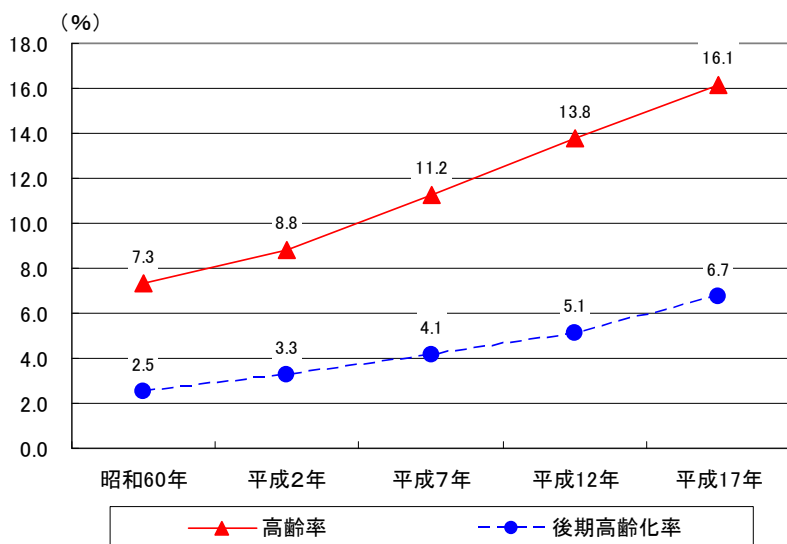


出典：国勢調査

### (3) 高齢化の推移

- 65歳以上の高齢化率は年々高くなっており、平成17年には16%を超え高齢社会に突入し、75歳以上の後期高齢化率は5.7%となっている。
- 府中市の高齢化の進行は全国(平成17年:20.1%)、東京都(同18.3%)と比べると緩やかに進んでいる。

図表: 高齢化率の推移(府中市)



出典: 国勢調査

### (4) 福祉エリア別

- 福祉の圏域として、民生委員・児童委員の地区、介護保険事業計画の日常生活圏域として用いられている「福祉エリア」別に人口をみると、それぞれの地区で人口は3万～5万人前後の人口規模となっており、世帯人員にもばらつきがみられる。

図表: 福祉エリア別人口・世帯数・世帯人員数(府中市)

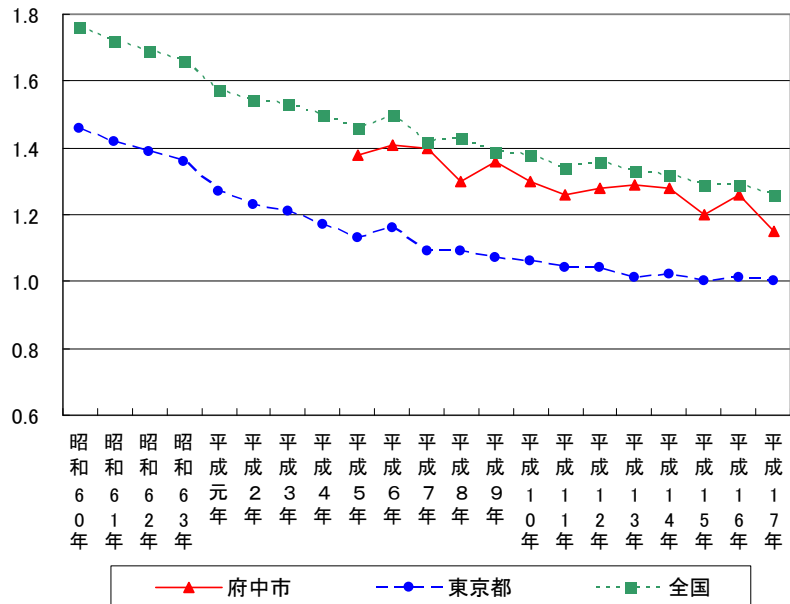
	人口 (人)	世帯数 (世帯)	世帯人員 (人)
第一地区	49,355	22,850	2.16
第二地区	47,708	21,325	2.24
第三地区	41,035	18,842	2.18
第四地区	27,958	13,307	2.10
第五地区	30,862	13,921	2.22
第六地区	41,416	18,727	2.21
合計	238,334	108,972	2.19

出典: 府中市住民基本台帳(平成19年4月1日現在)

(5) 少子化の状況

- 府中市は東京都平均に比べ合計特殊出生率は高く推移しており、都市部の中でも少子化が比較的緩やかに進んでいることがわかる。しかし、平成17年には合計特殊出生率は1.2人を下回っており、少子化傾向は着実に進んでいる。

図表：合計特殊出生率の推移(国、東京都、府中市)

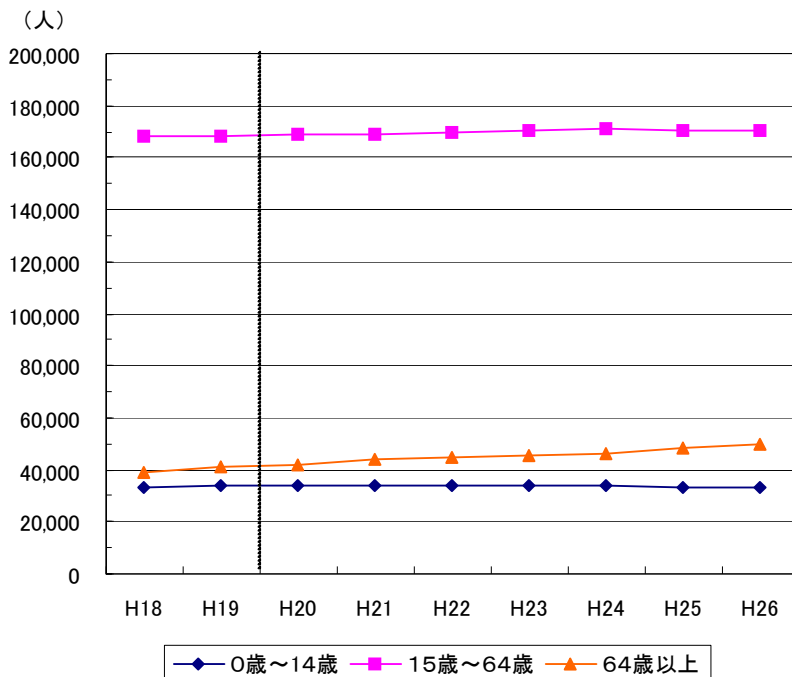


出典：人口動態統計

(6) 人口に関する今後の方向(人口推計)

- 府中市総合計画における人口推計では、府中市の人口は緩やかな増加傾向にある。年齢3区分別の人口では、65歳以上の高齢者人口が増加し、今後も高齢化がますます進むと予測されている。

図表：年齢3区分別の人口推計(府中市)



平成18・19年は実績値  
平成20年以降は推計値

出典：府中市第5次総合計画  
後期基本計画資料

## 2 昼間・夜間人口の状況

- 平成17年までの10年間で昼間人口は約2.5万人、夜間人口は約3万人増加している。市内から市外への通勤者は平成17年で7万人近くに上っており、市外で働く市民が多いことがわかる。

図表：年齢別昼間・夜間・流入・流出人口の推移(府中市)

(単位：人)

年次	昼間人口	流入人口			流出人口			夜間人口	昼間人口指数 (夜間=100)
		総数	通勤者	通学者	総数	通勤者	通学者		
昭和55年	176,585	45,692	36,405	9,287	60,499	46,001	14,498	191,392	92
昭和60年	188,753	53,617	44,837	8,780	66,826	52,630	14,196	201,962	94
平成2年	195,642	62,917	53,765	9,152	74,838	59,620	15,218	207,563	94
平成7年	210,521	70,788	62,635	8,153	76,393	62,504	13,889	216,126	97
平成12年	221,456	70,447	62,615	7,832	75,638	63,120	12,518	226,647	98
平成17年	236,133	66,784	50,112	16,672	75,943	69,328	6,615	245,292	96

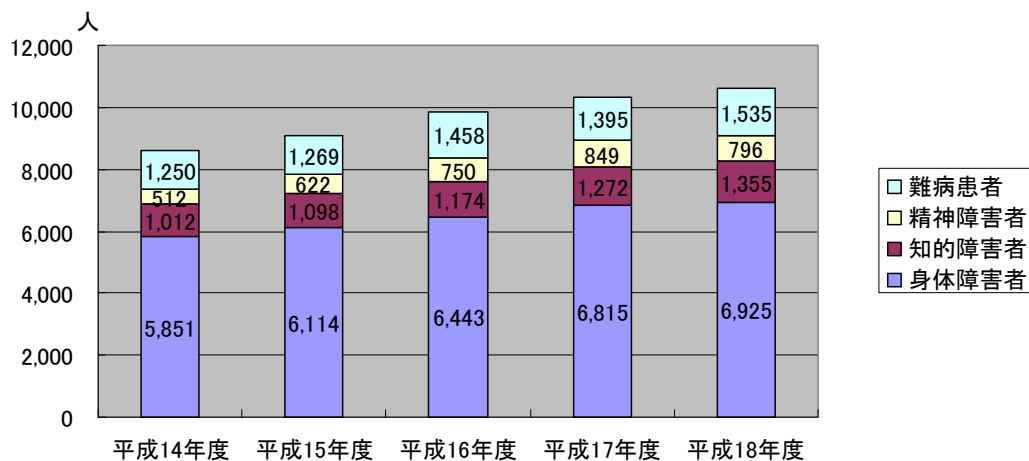
出典：国勢調査

## 3 障害のある人の状況

### (1)手帳所持者数の推移

- 障害の種類別の手帳所持者等の推移をみると、平成18年度では身体・知的・精神障害者と難病患者を合わせて延べ1万人を超えており、重複障害を含む障害者の延べ人数は年々増加している。
- 障害の種類別では身体障害のある人が最も多く、平成18年度では約7千人となっている。

図表：手帳所持者及び医療券所持者の推移(府中市)



		平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
手帳所持者(人)	身体障害者	5,851	6,114	6,443	6,815	6,925
	知的障害者	1,012	1,098	1,174	1,272	1,355
	精神障害者	512	622	750	849	796
医療券所持者(人)	難病患者	1,250	1,269	1,458	1,395	1,535
	合計	8,625	9,103	9,825	10,331	10,611

※ 重複障害者を含むため、合計は延べ人数

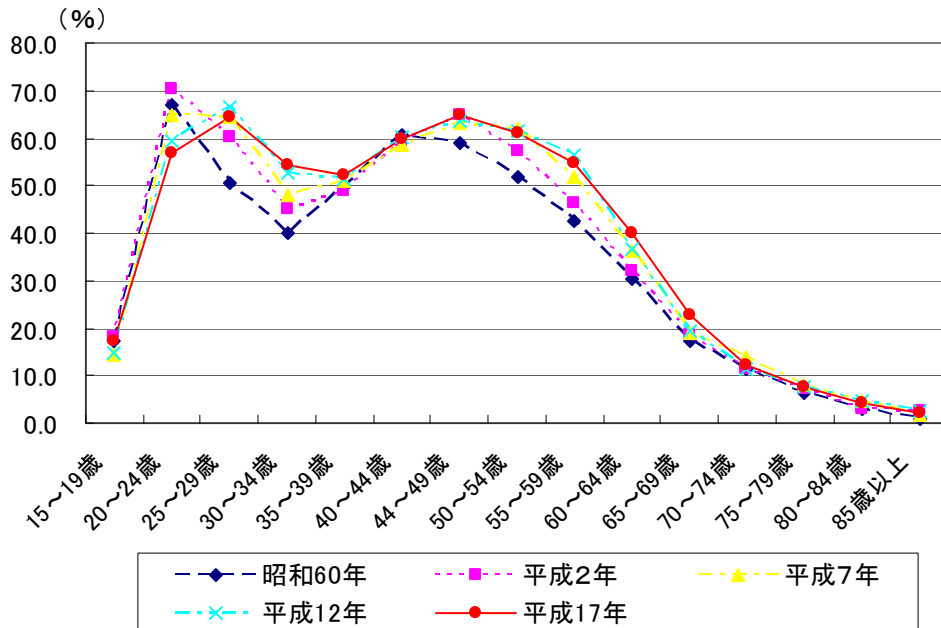
出典：府中市障害者福祉課資料(各年度3月31日現在)

## 4 市民生活の状況

### (1) 女性の労働力率

- 府中市の女性の年齢別の労働力率の推移を見ると、女性の労働力率は全体的に高まっており、労働力率が低下する30代前半の労働力率は、昭和60年から平成17年までに約15%高くなっている。20代、30代、40代の労働力率の差は縮まっており、子育て期の女性のライフスタイルの変化により仕事をもつ人が増えていることがうかがえる。

図表：女性の労働力率の推移（府中市）

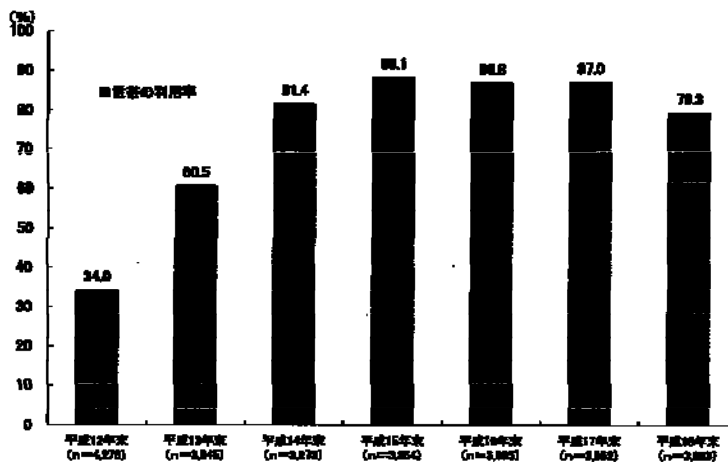


出典：国勢調査

### (2) 情報化の進展

- 全国のインターネットの利用率を見ると平成14年以降は80～90%前後となっており、インターネットが広く普及していることがわかる。

図表：世帯のインターネットの利用率（全国）



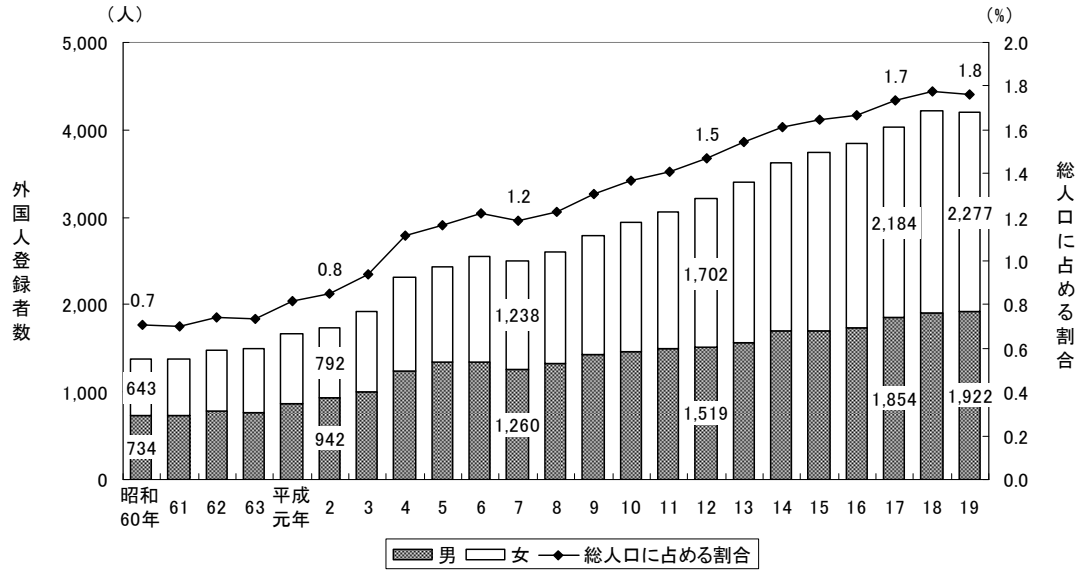
※ 平成17年末までは、家庭の数が過去1年間にインターネットを利用したかどうか（利用機器、場所、目的を問わない）についての調査に基いて「利用した」世帯とした世帯の割合。  
 平成18年末は、平成17年末までと同様の調査がないため、「自宅」「パソコン」を基にインターネットを利用したことがあっても「人はいる世帯にお尋ねします。」又は「インターネットを利用したことがある人が少なくとも1人はいる世帯にお尋ねします。」と同方式について回答を調査した世帯（世帯全体の約2.8%）に調査した世帯の割合。  
 調査方法等が異なっているため、平成17年末までの数値と平成18年末の数値の比較には注意を要する。

出典：平成18年情報通信  
 利用動向調査報告書

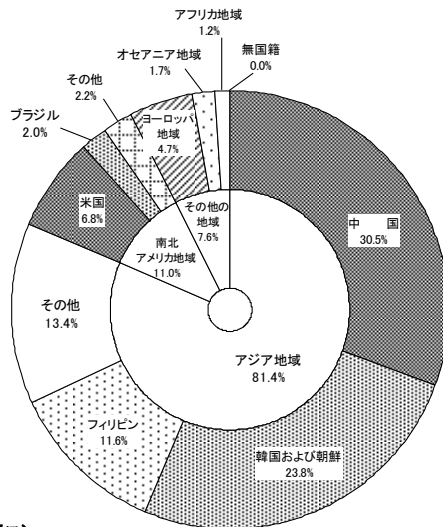
(3)外国人の増加

- 外国人登録者数は平成 19 年には4千人を超えており、府中市の総人口に占める割合は1.8%に上る。
- 国籍別の内訳では、中国、韓国および朝鮮、フィリピンの順となっている。

図表:外国人登録者数の推移(府中市)



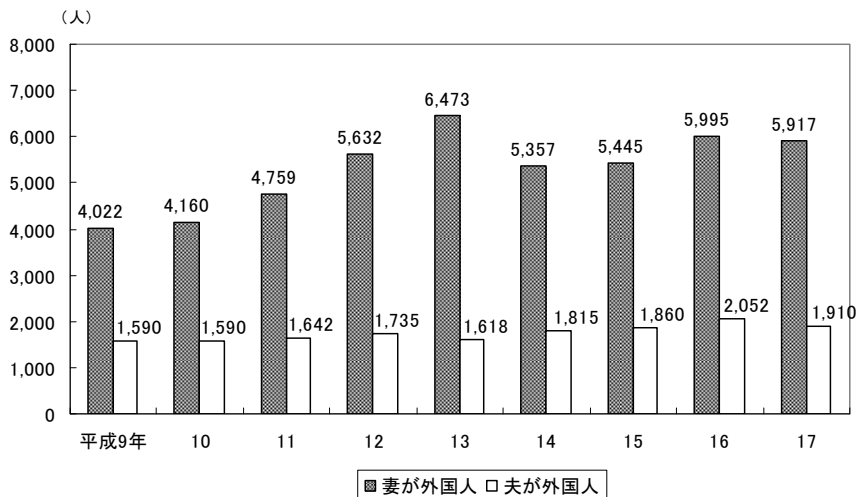
図表:外国人登録者の国籍別内訳(府中市)



出典:府中市統計書(各年1月1日現在)

出典:府中市統計書(各年1月1日現在)

図表:国際結婚の推移(東京都)

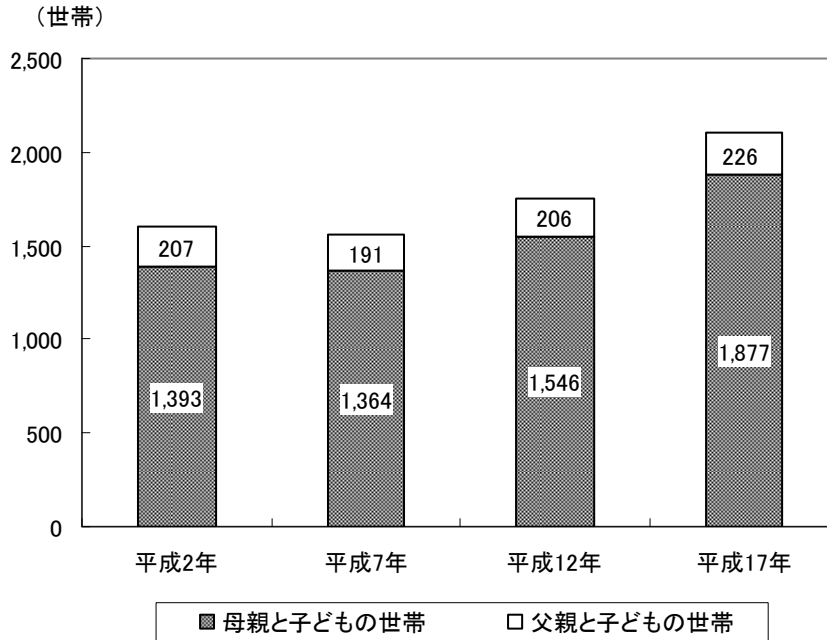


出典:人口動態統計

(4)ひとり親世帯

- ひとり親世帯の数は平成17年には2千世帯を超え、2,103 世帯に上っている。なかでも、母親と子どもの世帯が9割近くを占めている。

図表：ひとり親世帯の数(府中市)

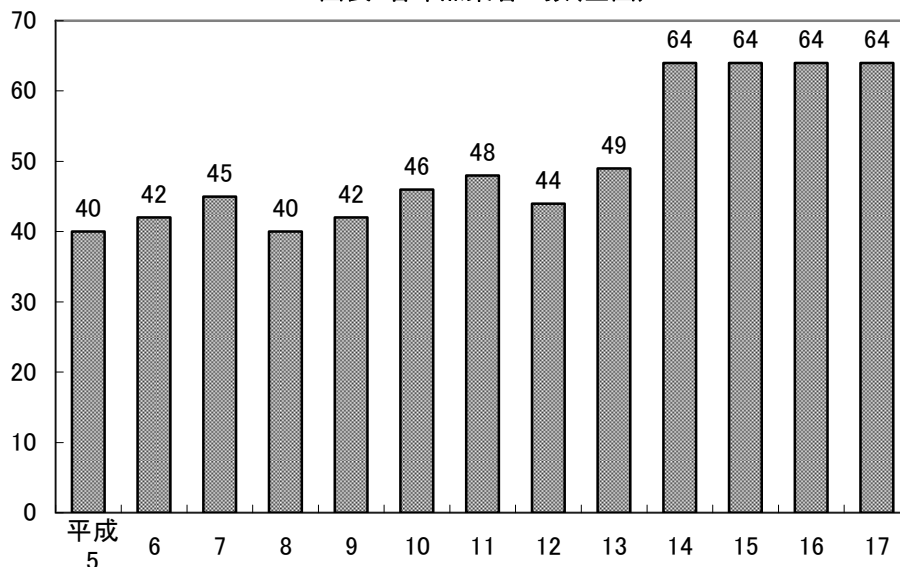


出典：国勢調査

(5)ニート(若年無業者)

- 15歳から34歳の若年層のうち、仕事や家事、通学等をしていない「ニート」といわれる若年の無業者数は大きく増加しており、平成17年までの4年間は64万人となっている。

図表：若年無業者の数(全国)



※ 平成13年までは「年齢を15歳～34歳に限定し、非労働力人口のうち、就業、就学、または職業訓練を受けていない15歳から35歳までの未婚者」として集計。平成14年以降はこれに「不登校」や「家事を行わない者」が追加されている

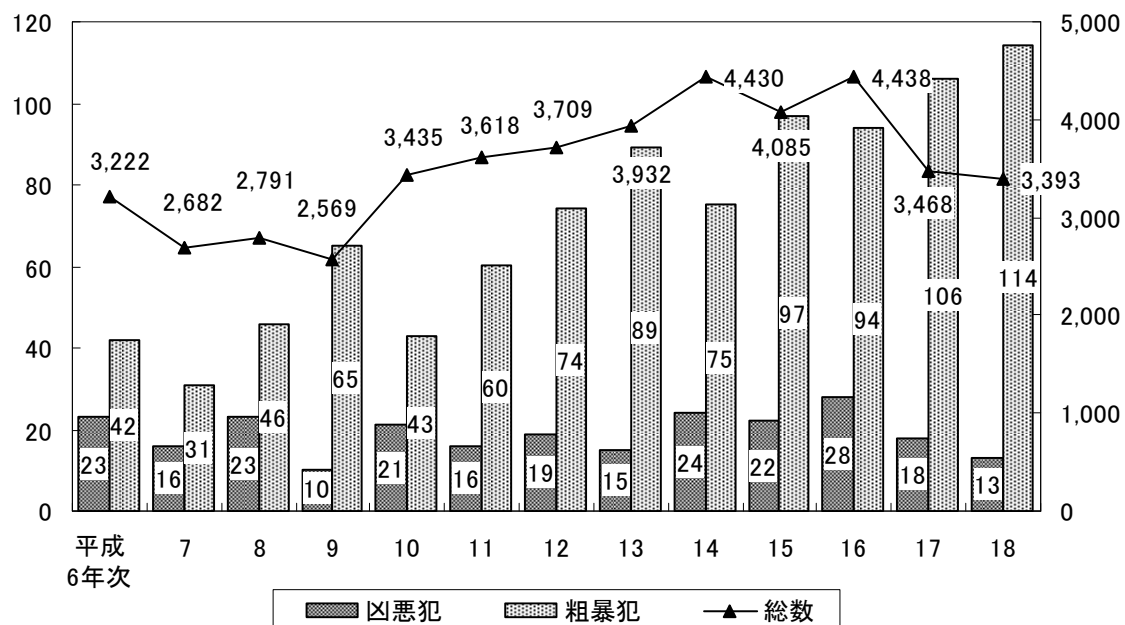
※ ニート：1999年にイギリスの報告書で用いられた「NOT IN EDUCATION, EMPLOYMENT OR TRAINING」(定義：「16～18歳の教育機関に所属せず、雇用されておらず、職業訓練に参加していない者」)に由来する言葉。国内では、厚生労働省により「若年無業者」として、「非労働力人口のうち、年齢15歳～34歳、通学・家事もしていない者」(平成17年より「学籍はあるが、実際は学校に行っていない人」「既婚者で家事をしていない人」が追加された)と定義されている。

出典：平成17年版労働経済白書(厚生労働省)

(6)市民生活の安全・安心

- 市内の犯罪発生件数は、平成18年では 3,393 件となっており、傷害などの粗暴犯が増加傾向にある。凶悪犯も 13 件みられる。

図表：刑法犯の発生認知件数の推移(府中市)



※ 刑法犯は、被害法益・犯罪態様の観点から類似性の強い罪種を包括した分類により、凶悪犯・粗暴犯・窃盗犯・知能犯・風俗犯・その他刑法犯の6種に分けられる  
 ※ 凶悪犯：殺人、強盗、放火、強姦、粗暴犯：凶器準備集合、傷害、暴行、脅迫、恐喝

出典：府中警察署資料



## 5 福祉エリア別にみた状況整理

エリア名	第1地区(エリア)	第2地区(エリア)	
エリアごとの特徴	東西に通る人見街道を中心に農業を営む古くからの住民層とマンションや宅地開発による新興住宅が組み合わされている地域。北部の多磨霊園周辺及びエルフォレストマンションは小金井市の生活圏、南北に走る西武多摩川線は地区内の生活圏を東西に区分している。	南北に走る西武多摩川線と東西に走る崖線が大きく生活圏を区分している。東部は車返団地があり大きな居住区を形成している。多磨霊園駅周辺に商業地を形成しているが、調布市の生活圏が主となる。また、西部には東京競馬場を擁し、周辺に古くからの住民を中心にコミュニティが形成されている。	
人口(H19.4.1)	49,355人	47,708人	
面積	6.85km <sup>2</sup>	6.00km <sup>2</sup>	
高齢者	支援センター	・あさひ苑高齢者在宅支援センター ・緑苑在宅介護支援センター	・しみずがおか在宅介護支援センター ・さくらんぼ在宅介護支援センター
	介護老人保健施設	・老人保健施設 ファミリート府中	
	介護老人福祉施設	・あさひ苑 ・信愛緑苑	・たちばなの園白糸台
	短期入所生活介護	・府中市立あさひ苑居宅介護支援センター ・緑苑居宅介護支援センター	・たちばなの園白糸台居宅介護支援事業所
	介護予防		
	グループホーム		・認知症対応型共同生活介護こもれび家族 ・認知症対応型共同生活介護府中
	介護療養型医療施設	・慈秀病院(療養型)	・共済会櫻井病院(療養型)
障害者	支援センター		
	支援施設	・府中朝日養護学校 ・東京都府中生活実習所 ・童里夢工房	・わかまつ共同作業所 ・ホープ若松 ・クラフトわかまつ ・府中あゆみ園 ・府中ひまわり園 ・たんぽぽの家
子ども	支援センター		
	学童クラブ	・第十学童クラブ ・白糸台学童クラブ ・第四学童クラブ ・若松学童クラブ ・第二学童クラブ	・南白糸台学童クラブ ・小柳学童クラブ ・第八学童クラブ
地域福祉	保健		
	文化センター	・紅葉丘文化センター ・白糸台文化センター	・押立文化センター ・是政文化センター
	上記以外の公共施設	・紅葉丘図書館 ・白糸台図書館 ・生涯学習センター ・府中市美術館 ・府中の森芸術劇場	・押立図書館 ・是政図書館
	体育館	・白糸台体育館	・押立体育館 ・日吉体育館

### 【福祉エリア】

第1地区(エリア)～第6地区(エリア)から構成される。福祉圏域として、民生委員・児童委員の地区として、また、介護保険事業計画(第3期)の日常生活圏域となっている。

エリア名	第3地区(エリア)	第四エリア	
エリアごとの特徴	北部の東八線周辺は国分寺市と小金井市が生活圏、中部の国道20号線周辺は府中駅を中心とする商業地と大きく生活圏が分れる。北東には大きな都営住宅(新町)があり高齢者人口も集中している。また、南部の旧甲州街道周辺は古くからの住民と新興のマンション住民が組み合わされ居住している。市中心地に近く立地条件もよく、他エリアに比べ集合住宅も多い。人口も集中するが、公共施設も集中しており、社会基盤は充実している。	エリア内は東西に走る旧甲州街道と高速道路、南北に通る下河原緑道により大きく圏域が分かれる。北部は旧甲州街道周辺の古くからの住民層と新興住民層が組み合わされている。中部は戸建住宅が比較的多い。南部は都営住宅(南町)が立ちならび、高齢者人口も集中している。分倍河原駅、府中本町駅、中河原駅が近く交通のアクセスはよい。市中心地への移動は比較的容易である。	
人口(H19.4.1)	41,035人	27,958人	
面積	4.02km <sup>2</sup>	3.61km <sup>2</sup>	
高齢者	支援センター	・安立園在宅介護支援センター ・しんまち在宅介護支援センター	・ピースプラザ在宅介護支援センター ・南町在宅介護支援センター
	介護老人保健施設		・老人保健施設ピースプラザ
	介護老人福祉施設	・安立園	
	短期入所生活介護	・安立園指定居宅介護支援事業所	
	介護予防		
	グループホーム		
	介護療養型医療施設		
障害者	支援センター	・地域生活支援センタープラザ、同分館 ・地域生活支援センターあけぼの	・地域生活支援センタープラザ分館 ・心身障害者福祉センター ・地域生活支援センターみーな
	支援施設	・ロードハイツ ・府中はるみ福祉園 ・府中きこり工房 ・てんてる舎 ・東京都府中授産場 ・栄興業	・ふれあい会館 ・梅の木の家共同作業所 ・集いの家
子ども	支援機関	・教育センター	・子ども家庭支援センター「たっち」
	学童クラブ	・第六学童クラブ ・新町学童クラブ ・第九学童クラブ ・第一学童クラブ	・第三学童クラブ ・南町学童クラブ ・矢崎学童クラブ
地域福祉	保健	・府中市保健センター・保健センター分館	・多摩府中保健所 ・市民健康センター
	文化センター	・新町文化センター ・中央文化センター	・片町文化センター
	上記以外の公共施設	・中央図書館 ・新町図書館 ・武蔵府中郵便局 ・府中警察署 ・府中消防署 ・府中社会保険事務所 ・NPO市民活動支援センター	・宮町図書館 ・片町図書館 ・市政情報センター ・観光情報センター ・市役所 ・府中市ボランティアセンター
	体育館	・栄町体育館	・総合体育館

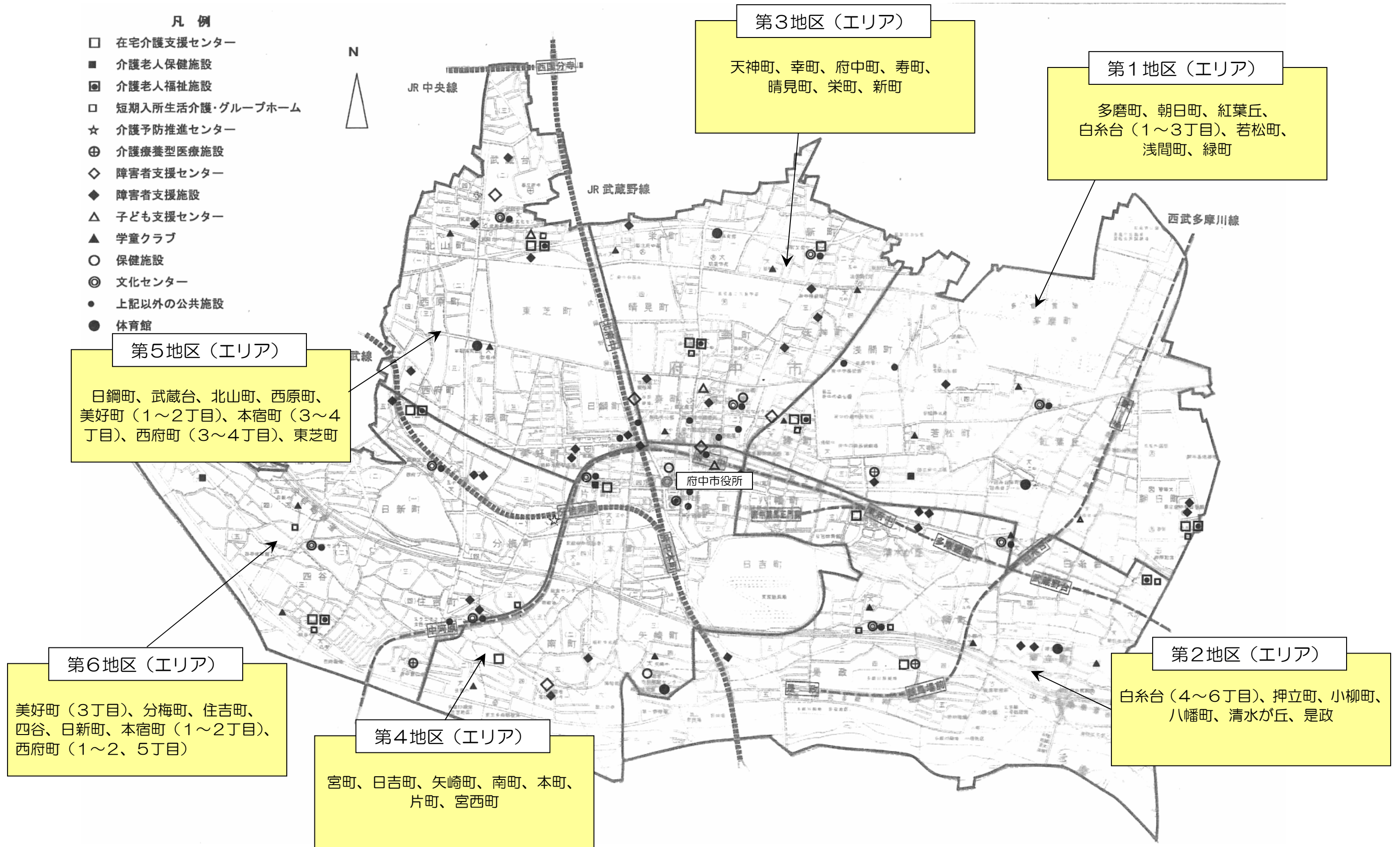
エリア名	第5地区(エリア)	第6地区(エリア)	
エリアごとの特徴	エリア内は東八道路、府中町田線、国道20号線により大きく生活圏が分かれる。北部は国立市、国分寺市が生活圏で、戸建住宅と都営住宅(北山)が混在し高齢化も進んでいる。中東部には東芝府中を擁し周辺に戸建住宅とエフユニバースマンションがある。東南には、日鋼団地があり、高齢化も進んでいる。南部は古くからの住民層と新興住民層により生活圏を形成している。	エリア内は南北に走る鎌倉街道、東西に走る高速道路、都道により大きく生活圏が分かれる。東部の鎌倉街道周辺の戸建住宅、中部の農業を営む古くからの住民層、西部は新興した戸建住宅とマンションが建ち隣接市が生活圏となる。中河原周辺に商業地を形成しており、中西部については市中心地への移動はしにくい。特に西部については隣接市(国立市・多摩市・日野市)への移動が主となる。	
人口(H19.4.1)	30,862人	41,416人	
面積	3.35km <sup>2</sup>	5.51km <sup>2</sup>	
高齢者	支援センター	・泉苑在宅介護支援センター	・よつや苑高齢者在宅介護支援センター ・鳳仙寮在宅介護支援センター
	介護老人保健施設		・老人保健施設ウイング
	介護老人福祉施設	・泉苑	・よつや苑 ・鳳仙寮
	短期入所生活介護	・泉苑居宅介護支援センター	・よつや苑居宅介護支援センター ・鳳仙寮居宅介護支援事業所
	介護予防		・府中市立介護予防推進センター
	グループホーム		・認知症対応型共同生活介護みんなの家府中 ・認知症対応型共同生活介護たのしい家武蔵府中
	介護療養型医療施設		・恵仁会病院(療養型)
障害者	支援センター	・都立府中療育センター	
	支援施設	・都立多摩療育園 ・武蔵台養護学校 ・府中共同作業所 ・レスポワール工房 ・ナイスデイキッズ ・グループホームマリム ・北山結いの家	・若竹障害者通所事業所 ・西府結いの家 ・根っこクラブ ・コットンハウス フレンズ ・プロジェクトつけやきのもり
子ども	支援センター	・子ども家庭支援センター「しらとり」	
	学童クラブ	・武蔵台学童クラブ ・第七学童クラブ ・本宿学童クラブ	・第五学童クラブ ・日新学童クラブ ・四谷学童クラブ ・住吉学童クラブ
地域福祉	保健		
	文化センター	・武蔵台文化センター	・四谷文化センター ・住吉文化センター ・西府文化センター
	上記以外の公共施設	・武蔵台図書館 ・府中公共職業安定所	・西府図書館 ・四谷図書館 ・住吉図書館 ・スクエア21 女性センター ・リサイクルプラザ
	体育館	・本宿体育館	・四谷体育館

(2) 社会資源の状況

- 福祉エリア別の社会資源の状況は次の通りである。

凡例

- 在宅介護支援センター
- 介護老人保健施設
- ▣ 介護老人福祉施設
- 短期入所生活介護・グループホーム
- ☆ 介護予防推進センター
- ⊕ 介護療養型医療施設
- ◇ 障害者支援センター
- ◆ 障害者支援施設
- △ 子ども支援センター
- ▲ 学童クラブ
- 保健施設
- ◎ 文化センター
- 上記以外の公共施設
- 体育館



第3地区 (エリア)

天神町、幸町、府中町、寿町、  
晴見町、栄町、新町

第1地区 (エリア)

多磨町、朝日町、紅葉丘、  
白糸台 (1~3丁目)、若松町、  
浅間町、緑町

第5地区 (エリア)

日鋼町、武蔵台、北山町、西原町、  
美好町 (1~2丁目)、本宿町 (3~4  
丁目)、西府町 (3~4丁目)、東芝町

第6地区 (エリア)

美好町 (3丁目)、分梅町、住吉町、  
四谷、日新町、本宿町 (1~2丁目)、  
西府町 (1~2、5丁目)

第4地区 (エリア)

宮町、日吉町、矢崎町、南町、本町、  
片町、宮西町

第2地区 (エリア)

白糸台 (4~6丁目)、押立町、小柳町、  
八幡町、清水が丘、是政



## II 市民活動の現状

地域福祉を支える市民の助け合いや社会参加など、地域で広がる市民の活動の現状をまとめる。

### 1 地域活動・ボランティアの状況

#### (1) 町内会・自治会

- 市内には、多様な規模や住居形態をもつ約 400 の町内会・自治会があり、全体で 7 万以上の世帯が加入している。

図表：町内会・自治会数と加入世帯数（府中市）

対 象	箇所数	加入世帯数
町内会・自治会	399箇所	70,637 世帯

出典：府中市文化コミュニティ課資料（平成 19 年 4 月 1 日現在）

#### (2) 老人クラブ

- 市内の老人クラブは 100 団体近くあり、加入者数は約 7 千 500 人に上る。女性の加入者数が多く、男性の約 1.8 倍の 4,830 人が加入している。

図表：老人クラブ団体数と加入者数（府中市）

対 象	団体数	加入者数
老人クラブ	96 団体	7,510 人 うち 男性 2,680 人 女性 4,830 人

出典：府中市高齢者支援課資料（平成 19 年 4 月 1 日現在）

### 2 助け合い・福祉活動

#### (1) 民生委員・児童委員

- 市内では、現在 171 名の民生委員・児童委員が活動している。
- なかでも、在宅福祉や介護保険、健康・保健医療、子育て・母子保健などの保健福祉に関する活動・支援や、子どもに関する活動・支援が多く行われている。

図表：民生委員・児童委員の活動状況（府中市）

（単位：件）

活動・支援内容	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
在宅福祉	994	1,080	934	764	688
介護保険	600	515	447	372	361
健康・保健医療	525	580	604	539	589
子育て・母子保健	311	315	288	327	299
子どもの地域生活	167	178	192	196	248
子どもの教育・学校生活	198	204	240	351	284
生活費	295	275	227	159	163
年金・保険	49	33	66	62	60
仕事	45	70	34	53	27
家族関係	282	245	266	214	216
住居	255	206	193	155	140
生活環境	151	182	244	188	273
日常的な支援	936	1,010	810	719	852
その他	704	774	824	823	1,106
合計(件数)	5,512	5,667	5,369	4,922	5,306

（単位：人）

民生委員・児童委員定数(人)	164	164	171	171	171
----------------	-----	-----	-----	-----	-----

出典：府中市事務報告書

(2)助け合い・小地域活動

- 府中市では社会福祉協議会を中心に、地域における住民相互の見守り・助け合い活動の実現を進めるための小地域ネットワークづくりが進められている。平成12年度からは福祉活動推進地区が設置され、自治会からの申請によって助け合い活動等への事業費補助が行われている。また、地域における助け合い活動の推進としてボランティア・NPO・市民活動団体懇談会などが開催されているほか、小学校区等で小地域懇談会が毎年開催され、自主的な地域のネットワークのきっかけづくりが進められている。

図表：小地域懇談会開催実績(府中市)

回	時 期	地域分け	備 考
1	平成9～10年	福祉エリア	6地区×1回ずつ
2	平成11年度	福祉エリア	6地区×1回ずつ
3	平成12～13年度	文化センター・コミュニティーエリア	11ヶ所×1回ずつ
4	平成14～18年度	主に小学校区	年3ヶ所×2回ずつ×5年

\*平成18年度はモデル地区 ①六小・新町小周辺地域 ②九小周辺地域 ③四谷小・日新小周辺地域  
\*テーマは1回目①知り合うこと ②地域の問題提起(課題・心配事などを出し合う)  
2回目①自主的な地域のネットワークのきっかけづくり

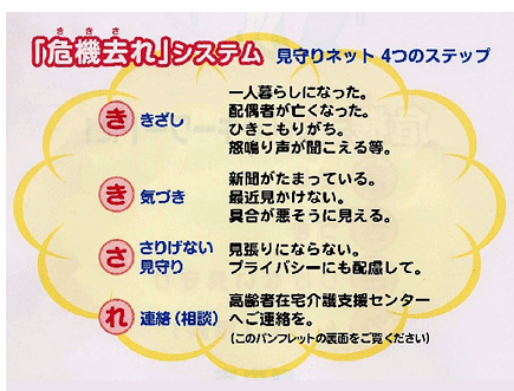
出典：府中市社会福祉協議会資料

(3)見守りネットワーク(危機去れシステム)

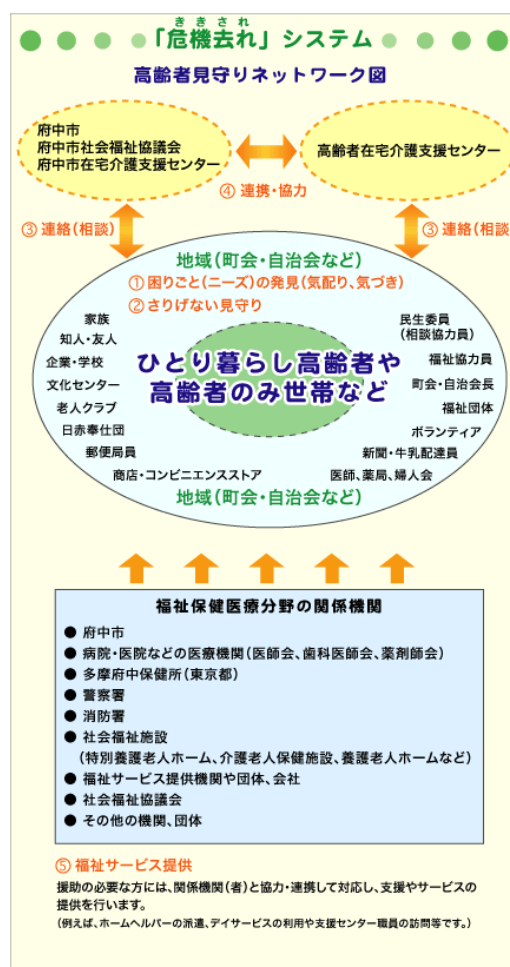
- 府中市では、高齢者在宅介護支援センターを拠点とした、「府中市高齢者見守りネットワーク」(「危機去れ」システム)構築に平成17年4月から取り組んでいる。
- ネットワークの特徴は、地域の人などが事前登録なしにだれがだれを見守るという役割を決めず、日常生活の中で負担にならないように気になったことを通報するシステム。「危機去れ(ききされ)」をキーワードに安否確認や消費者トラブルなどを含めた幅広い見守り活動を行っている。地域の中にネットワークが浸透するようにテレビやホームページを使った広報活動も併せて行っている。
- 通報を受けたセンターは、本人の自宅を訪問したり、親族に連絡するなど必ず本人の状況を確認し、各専門機関と連携を図るなど状況に応じた支援体制をとっている。

図表:「危機去れ(ききされ)」システム

<見守りネット 4つのステップ>



<見守りネットワーク図>



出典:見守りネットワークホームページ、東京都見守り新鮮情報ブログ

## 2 ボランティア団体・NPOの状況

- 市内で活動するボランティア団体は高齢者、障害者、児童関連の団体が多く、42 団体が府中ボランティアセンターに登録し、活動している。
- 東京都で認証を受けている NPO 法人(特定非営利活動法人)のうち、府中市に事務所を置く NPO は 63 団体にのぼり、主な活動分野をみると、市内 NPO の半数以上が保健・医療・福祉や子どもに関する活動を行っている。

図表:ボランティアセンターに登録している府中市のボランティア団体数(府中市)

活動分野	団体数
高齢者関連支援／交流	7
障害者関連支援／交流	5
児童関連支援／交流	6
環境関連支援／交流	2
国際協力関連支援／交流	1
その他支援／交流	21

出典:府中市ボランティアセンター資料  
(ボランティアグループ団体・NPO法人 活動の紹介第3版)

図表:東京都認証の府中市に事務所を置くNPO団体数(府中市)

東京都認証のNPO団体	団体数
府中市に事務所を置くNPO	63
活動分野	
1保健、医療又は福祉の増進を図る活動	35
6災害救援活動	5
7地域安全活動	9
10男女共同参画社会の形成の促進を図る活動	6
11子どもの健全育成を図る活動	32
16消費者の保護を図る活動	6

\*活動分野は重複あり/地域福祉に関連する分野のみ抜粋  
出典:東京都ホームページ(平成19年12月31日現在)

## 3 市内施設利用の状況

### (1) 市政情報センター利用状況

- 市政情報センターの利用者数は年々増加しており、平成 17 年には 6 万人を超えている。

図表:市政情報センター利用状況(府中市)  
(単位:人、件)

年度	利用人数	案内件数
平成13年度	45,710	7,593
平成14年度	52,010	7,015
平成15年度	58,766	8,298
平成16年度	59,313	8,052
平成17年度	60,815	9,086

出典:府中市統計書

### (2) 府中の森芸術劇場・グリーンプラザ利用状況

- 市民の活動拠点である府中の森芸術劇場や府中グリーンプラザの利用は増加している。

図表:府中の森芸術劇場・府中グリーンプラザ利用状況(府中市)

府中の森芸術劇場利用状況 (単位:稼働単位)

年度	総数	どリーむホール	ふるさとホール	平成の間	練習室	その他
平成13年度	7,015	531	503	444	2,213	2,621
平成14年度	6,880	550	447	392	2,325	2,510
平成15年度	7,083	600	523	442	2,180	2,670
平成16年度	7,541	608	528	436	2,644	2,622
平成17年度	7,592	616	599	460	2,565	2,647

\*1日は3稼働単位

府中グリーンプラザ利用状況 (単位:稼働単位)

年度	総数	けやきホール	展示ホール	会議室	音楽練習室	和室	その他
平成13年度	9,908	398	1258(818)	3,490	2,655	755	1,352
平成14年度	12,431	402	1416(815)	4,534	3,549	905	1,625
平成15年度	12,590	413	1343(754)	4,578	3,547	976	1,733
平成16年度	12,793	422	1428(824)	4,617	3,605	931	1,790
平成17年度	14,076	463	1375(820)	5,182	3,645	1,316	2,095

\*1日は3稼働単位

出典:府中市統計書



### Ⅲ 新たな福祉課題への対応

近年の新たな福祉課題を把握し、新たな福祉計画に反映するため、現行の福祉計画策定後の福祉課題となっているさまざまな問題について、データや相談の状況からみた、全国や東京都の動きと府中市の現状をまとめる。

#### 1 新たな福祉課題に関する現況

##### (1)生活保護

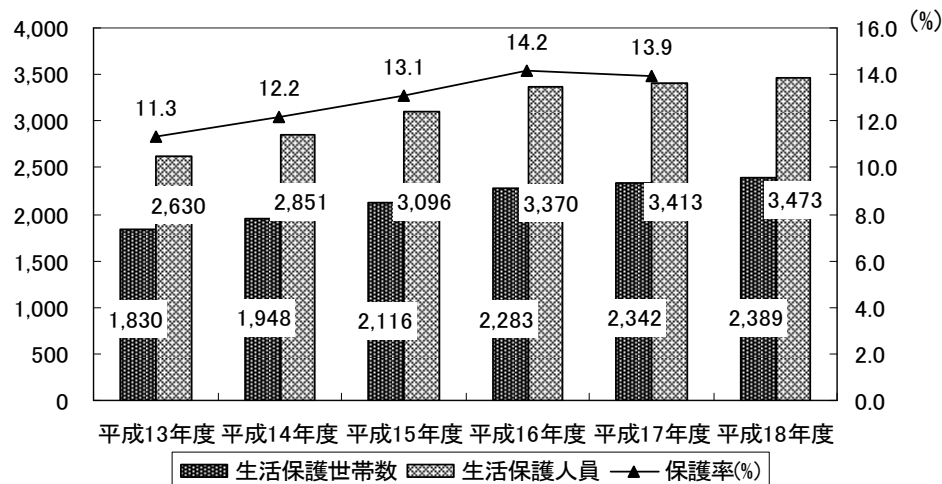
##### ①全国の動向

- 厚生労働省の社会福祉行政業務報告によれば、生活保護を受けている世帯の数(被保護世帯数)は、1980年度の746,997世帯から1992年度には585,972世帯にまで減少していたが、その後増加に転じ2004年度は998,887世帯と1980年度の約1.3倍に増加している。2005年度には、一月の平均被保護世帯数が100万世帯を突破、増加傾向にある。
- 被保護世帯を世帯類型別に見ると、高齢者世帯、障害者・傷病者世帯、母子世帯、その他の生活困窮世帯と分けることができ、1980年頃から1990年代半ばまでは減少傾向にあったが、バブル崩壊による経済の悪化によって、現在は増加に転じている。被保護世帯の中で、高齢者世帯は趨勢的に増加しており、1980年度は全体の30.2%であったが2004年度には46.6%とほぼ半数を占めるようになっている。

##### ②府中市の動向

- 府中市においては、平成13年以降現在まで、生活保護世帯数・人員とも増加傾向にある。
- 保護率(人口に対する生活保護受給者数の割合。パーミルで表す)は平成16年に14.2%と最高を記録した後、平成17年にはやや減少しているものの、経済情勢等により再び増加に転ずる可能性もある。
- 生活保護世帯の中で多数を占めるのは高齢者世帯と傷病者世帯である。しかし、近年では障害者世帯、その他世帯も増加している。

図表:生活保護世帯の推移



年度	世帯数	人員	保護率(%)	高齢者世帯	母子世帯	傷病者世帯	障害者世帯	その他世帯	合計
平成13年度	1,830	2,630	11.3	672	203	584	203	168	1,830
平成14年度	1,948	2,851	12.2	703	211	625	214	195	1,948
平成15年度	2,116	3,096	13.1	731	230	702	234	219	2,116
平成16年度	2,283	3,370	14.2	776	253	740	249	260	2,278
平成17年度	2,342	3,413	13.9	803	256	740	258	281	2,338
平成18年度	2,389	3,473	-	836	248	708	281	308	2,381

出典:府中市統計書、事務報告書

## (2) 孤立死

- お金がなくなって餓死したり、誰にもみとられずに病死したりして、死後かなりたってから遺体が発見されることが多い。人間関係の希薄化で、近所付き合いがなくなり、生活上の困り事や悩み事ができた時、相談し助けを求めることができなくなった社会状況が影響していると考えられる。
- 東京都の都営住宅では、誰にもみとられずに死後に発見されるケースが昨年度、前年度比約5%増の327件に上り、都市部を中心に孤立死が増えているほか、夫婦が遺体で見つかる事例も目立っている。このため、こうした孤立死の防止だけでなく、「老老介護」などで地域や行政の援助を十分に受けられないケースなどにも対応する必要がある。
- 2005 年国勢調査によると、全国の一人暮らしの高齢者(65歳以上)は、高齢者全体の15・1%を占める405万人である。5年前の調査と比べて102万人も増加しており、国立社会保障・人口問題研究所は2025年には680万人に達すると推計している。

図表: 孤立死に関するデータ(東京都)

- 東京 23 区内の自宅で誰にも見取られずに死因不明の急死や事故死(自殺を除く)を遂げた単身者は、2,718 人。  
・このうち男性が 7 割(1,836 人)である。  
・65 歳以上では男性は 55%であるが、中年実年世代では全体の 9 割近くを男性が占める。  
・死後3～6ヶ月での発見は男性が 14 人、6ヶ月以上が3人で女性はゼロであった。  
【2004 年度東京都監察医務院データ 2005 年6月 24 日東京新聞】
- 東京都営住宅の一人暮らし世帯で 2004 年度に孤独死した 309 人のうち 17 人が死後1ヶ月以上放置されていた。死後1週間以上たって見つかった 67 人のうち男性は 53 人と8割近くに上った  
【都住宅供給公社資料:より 2005 年5月7日東京新聞】  
⇒単身者の孤立の問題(特に中年実年を含めた男性単身者)

出典: 厚生労働省「これからの地域福祉のあり方に関する研究会」(第2回資料)

## (3) 徘徊・不明者

- 屋外を徘徊(はいかい)中、死亡、行方不明となった高齢者が、全国で 2004 年1年間に約900人に上ったことが、警察庁の 2005 年調査で明らかになっている。
- 多くが認知症高齢者で、発見、保護に時間がかかることが原因と見られ、関係者は、警察署や自治体、町内会などの連携強化の必要性を指摘している。
- 同庁によると、昨年1月から12月末までの1年間に、全国の警察署に寄せられた徘徊高齢者に関する捜索願や110番通報は、2万3668件である。このうち、死亡が確認されたのは548人、行方不明のままは357人に上っている。一方、無事に発見されたのは1万7842人、本人が自分で帰宅したのは4921人だった。死亡原因は、側溝に落ちたり、冬場は凍死したりするケースが多いと見られる。

- 各地の警察や自治体は、消防署や福祉施設、タクシー会社などと連携して、早期発見のためのネットワークづくりを進めている。厚生労働省によると、こうしたネットワークがあるのは、全国で約560市町村。同省の推計によると、認知症高齢者は、全国に約170万人。2030年には350万人に達し、65歳以上人口の1割を占める見通しとなっている。

図表：徘徊・不明者(全国)

○屋外を徘徊中、死亡、行方不明となった高齢者は、2004年1月から12月末までの1年間に約900人に上った(警察庁調査)。全国の警察署に寄せられた徘徊高齢者に関する捜索願や110番通報は、2万3668件。このうち死亡が確認された548人、行方不明のままは357人に上った。一方、無事に発見されたのは、1万7842人、本人が自分で帰宅したのは4921人。多くが、認知症高齢者で、発見、保護に時間がかかることが原因とみられる。

【2005年9月22日読売新聞】

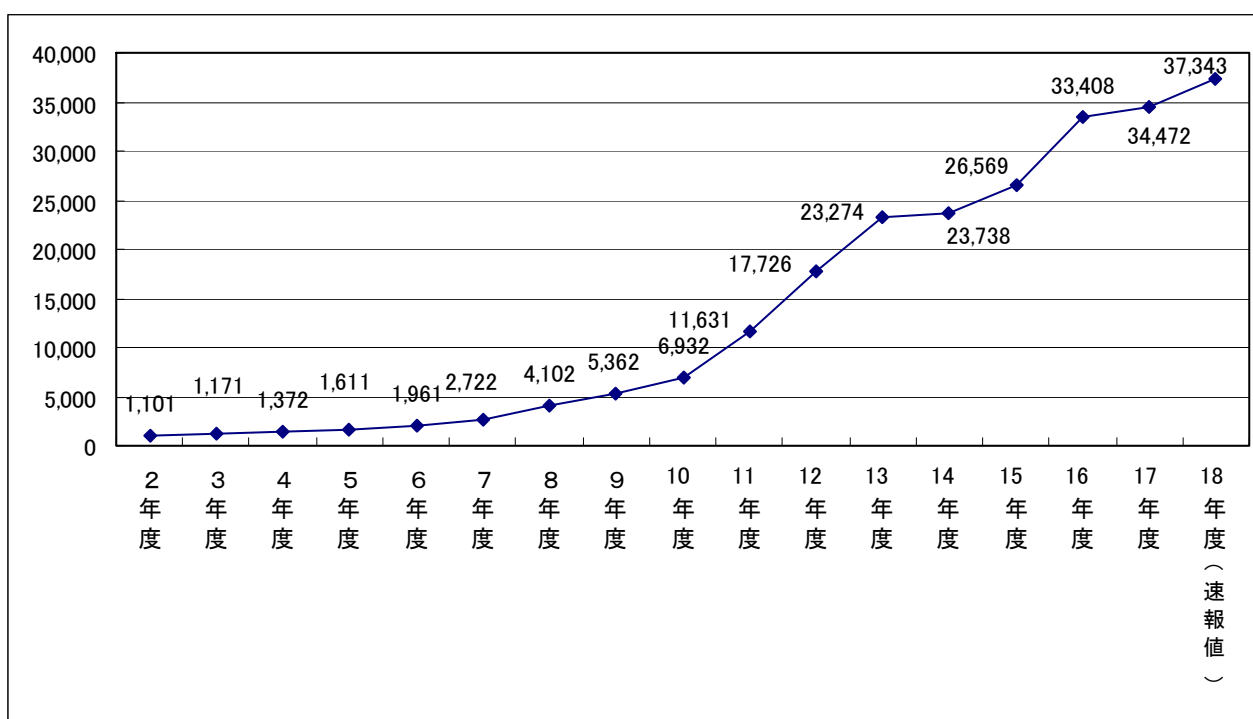
⇒地域の人々による発見が必要

出典：厚生労働省「これからの地域福祉のあり方に関する研究会」(第2回資料)

(4) 児童虐待

- 児童虐待は、近年特に社会問題として多く取り上げられるようになってきているが、相談件数の推移を見ると平成2年度の1101件から平成18年度の37343件へと増加の一途をたどっている。

図表：児童虐待相談件数(全国)



出典：厚生労働省「これからの地域福祉のあり方に関する研究会」(第2回資料)

(5)高齢者虐待

- 平成18年に高齢者虐待防止法が施行され、高齢者虐待の防止への取組みが加速するとともに、高齢者虐待の深刻な状況が顕在化し、虐待防止や相談などの対応はますます重要になっている。
- 全国の高齢者虐待の現状をみると、虐待の種別は身体的虐待がもっとも多く、64.1%にのぼっている。また、心理的虐待や介護等放棄、経済的虐待も3割程度該当しており、複数の虐待が重複して行われている状況がうかがえる。
- 虐待されている高齢者は、性別は女性、年齢は70代、80代が多い。
- 虐待者は息子がもっとも多く、他と比べてとくに高い割合(37.1%)となっている。

図表:養護者による高齢者虐待の状況(全国)

●相談・通報・対応件数

H18年度全国 1,829市町村で受け付けた相談通報総数 18,393件

●虐待判断事例

訪問調査等で事実確認がとれ、虐待を受けた又は受けたと思われると判断した事例

相談通報事例 総数 13,965件、うち虐待判断事例 総数 9,884件

●虐待種別・類型

表 虐待の種別・類型(複数回答)

	合計	身体的虐待	介護等放棄	心理的虐待	性的虐待	経済的虐待
件数	15,544	6,340	2,908	3,520	71	2,705
%	-	64.1	29.4	35.6	0.7	27.4

(注1)虐待の種別・類型には重複があるため、内訳の合計は虐待判断事例総数9,884件と一致しない。

(注2)%は虐待判断事例総数9,884件に対する割合であるため、合計は100%にならない。

●被虐待・高齢者

表 被虐待高齢者の性別

	合計	男	女	不明
人	10,030	2,284	7,717	29
%	100.0	22.8	76.9	0.3

(注)1件の事例に対し、被虐待高齢者が複数の場合があるため、虐待判断事例総数9,884件に対し被虐待高齢者総数は10,030人であった。

表 被虐待高齢者の年齢

	合計	65~69歳	70~79歳	80~89歳	90歳以上	不明
人	10,030	1,078	3,687	3,987	941	337
%	100.0	10.7	36.8	39.8	9.4	3.3

(注)1件の事例に対し、被虐待高齢者が複数の場合があるため、虐待判断事例総数9,884件に対し被虐待高齢者総数は10,030人であった。

●虐待者

表 虐待者の被虐待高齢者との続柄

	合計	夫	妻	息子	娘	息子の配偶者(嫁)	娘の配偶者(婿)	兄弟姉妹	孫	その他	不明
人	11,401	1,606	557	4,229	1,543	1,185	287	213	491	532	778
%	100.0	14.1	4.9	37.1	13.5	10.2	2.5	1.9	4.3	4.7	6.8

(注)1件の事例に対し、虐待者が複数の場合があるため、虐待判断事例総数9,884件に対し、虐待者総数は11,401人であった。

出典:平成18年度厚生労働省調べ

(6)ドメスティックバイオレンス

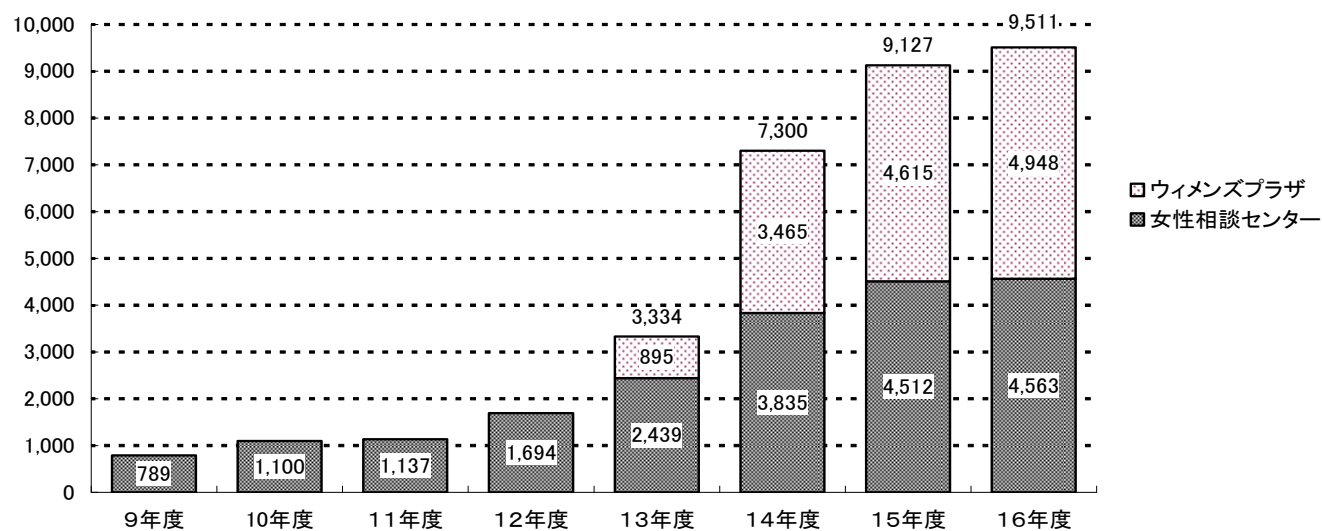
- 「配偶者からの暴力事案の対応状況について」(警察庁)によれば、相談件数は以下の通り。

平成 14 年	平成 15 年	平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年
14,140	12,568	14,410	16,888	18,236

平成 18 年の内訳については「被害者と加害者の関係」については、「婚姻関係」が 72.8%

- 「被害者の性別」については、「女性」が 98.8%となっている。
- 東京都の相談窓口であるウィメンズプラザと女性相談センターの相談件数は急上昇を続けている。

図表:東京ウィメンズプラザ・東京都女性相談センターの相談件数(東京都)

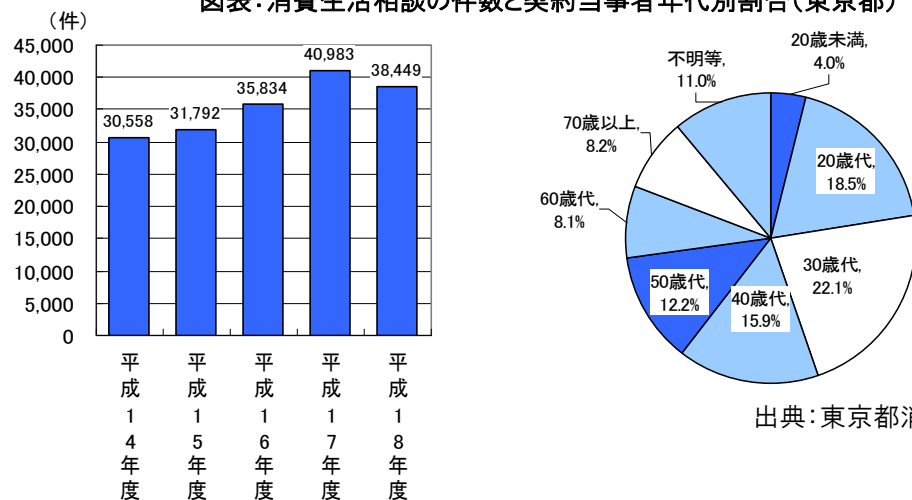


出典:東京都配偶者等暴力対策基本計画

(7)消費者被害

- 消費生活総合センターでは消費生活相談を行っており、とくに高齢者専用の「高齢者被害110番」も設置している。消費生活相談全体の件数は、平成18年度には3万8千件を超え、相談内容では架空・不当請求が1万1千件に上っている。
- 契約当事者の年代別割合をみると、60代以上が約16%となっている。前年度比では、60歳代は114.5%、70歳以上は130.9%となっており、高齢者の被害が増加している。

図表:消費生活相談の件数と契約当事者年代別割合(東京都)



出典:東京都消費生活総合センター

(8)災害時要援護者

- 近年の自然災害の多くでは、犠牲者の多数が高齢者であり、今後、災害時要援護者として高齢者や障害者、外国人などへの対応をどのようにすべきか、日ごろから対策を講じておく必要がある。

図表:新潟中越沖地震での被害状況

○近年の風水害や地震では犠牲者の多くを高齢者が占めており、高齢化が進む中において高齢者、障害者、日本語のわからない外国人などの災害時要援護者の避難支援等が課題となっている。

新潟中越沖地震による被害状況 (2007年7月16日発生)

死者 11 人のうち、10 人が高齢者 (柏崎市 9 人、刈羽村 1 人)

- ・ 70 歳代 7 人、80 歳代 3 人
- ・ 建物の下敷き 9 人、外傷性硬膜下血腫 1 人
- ・ 男性 4 人、女性 6 人

[新潟県災害対策本部]

〈参考〉柏崎市の人口は、約 9 万 4000 人、高齢化率 25.6%、刈羽村高齢化率 26.4%。

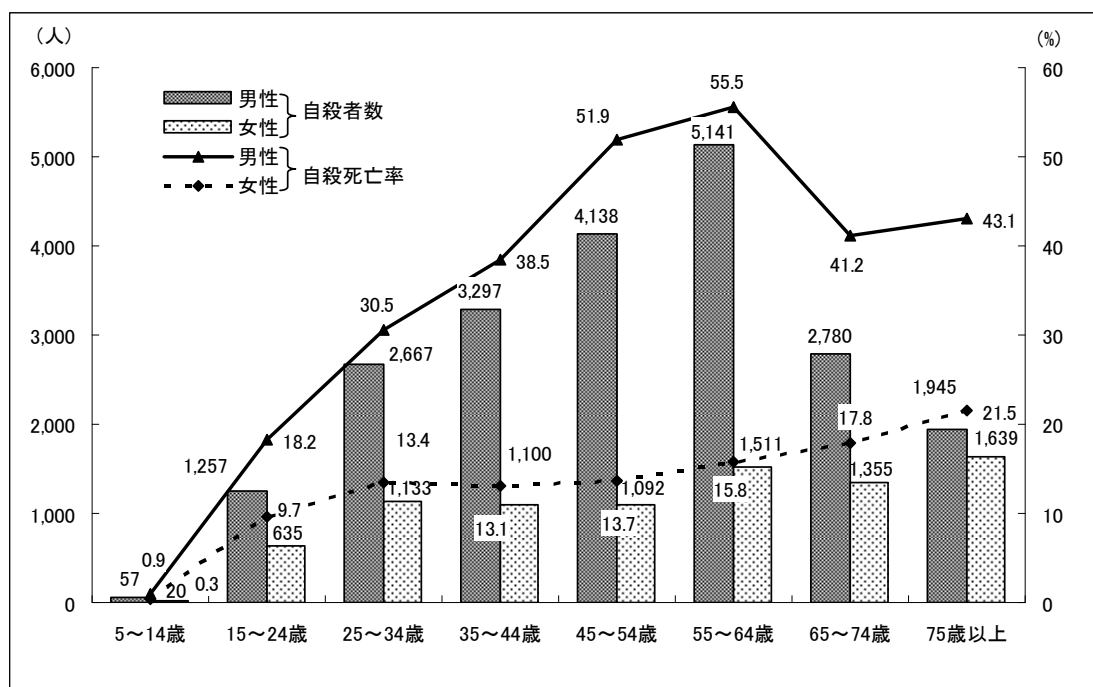
⇒ 災害時に力を発揮する日常的なつながりや支えあう活動の必要

出典:厚生労働省「これからの地域福祉のあり方に関する研究会」(第2回資料)

(9)自殺者

- 全ての年代において男性の自殺死亡率高く、45～64 歳の男性の自殺死亡率は 50%を超えており他の年代と比べて突出している。また、近年の傾向では 75 歳以上の高齢者の自殺者数が上昇している。

図表:平成 18 年における自殺者数及び自殺死亡率(全国)



出典:平成 19 年版自殺対策白書 (内閣府)

## 2 市民相談の件数の推移

### (1) 市民相談

- 市民相談件数には特に増減の顕著な傾向は見られない。

図表：市民相談の推移（府中市）

（単位：件）

年度	法律相談	人権身の上相談	税務相談	労働相談	住宅建築相談	外国人相談
平成 13 年度	1,710	86	208	14	16	49
平成 14 年度	1,786	90	149	15	10	55
平成 15 年度	1,681	100	167	9	18	33
平成 16 年度	1,566	93	156	10	12	46
平成 17 年度	1,582	92	161	6	18	28

出典：府中市統計書

### (2) 女性センターの相談

- 女性センター相談件数の内訳を見ると、電話相談の比重が高まってきている。

図表：府中市女性センター相談件数の推移（府中市）

年度	総数	面接相談	電話相談	女性	男性
平成 13 年度	743	313	430	672	71
平成 14 年度	790	297	493	717	73
平成 15 年度	887	323	564	833	54
平成 16 年度	856	316	540	776	80
平成 17 年度	783	255	528	721	62
平成 18 年度	848	270	578	822	26

出典：府中市女性センター資料

### (3) 高齢者に関する相談

- 高齢者に関する相談は、地域包括支援センター、いきいきプラザ、在宅介護支援センターで相談を受け付けている。
- 地域包括支援センターでは、高齢者やその家族に対する総合的な相談・支援、高齢者に対する虐待防止や早期発見等の権利擁護事業を行っており、日常生活相談が最も多い。

図表：地域包括支援センターの相談内容別人数（府中市）

	人	全体に対する比率
高齢者日常生活相談	893	24.5%
高齢者住宅・施設相談	451	12.4%
高齢者看護・介護相談	482	13.2%
高齢者虐待	26	0.7%
身体障害者（児）	99	2.7%
知的障害者（児）	23	0.6%
精神障害者	150	4.1%
ひとり親／家庭女性・DV	24	0.7%
生活保護	330	9.1%
資金援助・貸付	140	3.8%
医療保険・機関	270	7.4%
成年後見制度	133	3.7%
福祉サービス利用援助	113	3.1%
その他の相談	505	13.9%
計	3,639	100.0%

出典：府中市高齢者支援課資料



- 平成 18 年 4 月に開設した介護予防推進センター(いきいきプラザ内)の利用者は 5,864 人。利用目的をみると、「筋力向上(リスク無)(36.0%)」が最も多く、「転倒予防(21.0%)」、「介護予防健診(13.5%)」が続いている。

図表:介護予防推進センターの相談内容別人数(府中市)

	人	全体に対する比率
介護予防健診	789	13.5%
筋力向上(リスク有)	325	5.6%
筋力向上(リスク無)	2,107	36.0%
転倒予防	1,226	21.0%
尿失禁予防	685	11.7%
認知症予防	267	4.6%
低栄養予防・口腔ケア	421	7.2%
いきいきハウス利用	26	0.4%
計	5,846	100.0%

出典:府中市高齢者支援課資料

- 府中市には11の高齢者在宅介護支援センターが設置されており、高齢者や家族からの総合相談窓口として、社会福祉士・介護福祉士・保健師・看護師等が相談に応じている。
- 昨年度の相談件数は、市全体で3万件以上に上る。

図表:高齢者在宅介護支援センターの相談内容別人数(府中市)

年度	相談件数
平成 17 年度	24,483
平成 18 年度	31,061

出典:府中市高齢者支援課資料

(4)子どもに関する総合相談

- 子ども生活支援センター「たち」総合相談件数は全体的に増加傾向にあり、どの年代の相談対象者も増加している。
- 相談内容で激増しているのは、「養育困難」に関する相談である。

図表:子ども家庭支援センター「たち」総合相談件数の推移(府中市)

年度	受付件数	相談対象者				
		0~6歳	7~12歳	13~15歳	16~18歳	19歳以上
平成17年度	821	595	137	69	12	8
平成18年度	1,008	675	206	88	24	15

年度	相談内容									
	児童虐待	養育困難	保健(疾患等)	障害等	非行	性格行動	不登校	適正	育児・しつけ	その他
平成17年度	228	62	23	31	6	45	23	2	248	153
平成18年度	242	213	41	32	9	33	53	20	196	169

出典:府中市子ども家庭支援センター資料



(5) 権利擁護に関する相談

- 福祉サービスの利用相談件数を見ると、高齢者、精神障害者からの相談が多い。
- 地域福祉権利擁護事業については、相談件数が多いが利用に結びついていない。

図表：サービス利用や苦情、権利擁護に関する相談・対応状況

利用者サポート(福祉サービスの利用相談)

(単位：件)

合計	高齢者	知的障害者	精神障害者	身体障害者	その他
435	281	9	117	8	20

専門相談および苦情対応(調整)

①ふくし法律相談

合計	金銭トラブル	相談問題	成年後見制度	財産管理	その他
53	3	9	25	5	11

②苦情対応(調整)

合計	高齢者	知的障害者	精神障害者	身体障害者	その他
5	4	0	1	0	0

地域福祉権利擁護事業(福祉サービス利用援助事業)

対象：高齢者、障害者

事業内容：福祉サービス利用支援／日常的金銭管理サービス／書類等預かりサービス

※利用料：非課税世帯減免制度あり

①問合せ・相談件数

合計	本事業の利用に関するもの				その他
	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	不明	
7,193	4,322	548	2,316	6	1

②契約締結件数

合計	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	生活保護(再掲)
14	12	0	2	0	1

③終了件数

合計	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他
3	2	0	1	0

④現在の実利用人数(単位：件数)

合計	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	生活保護(再掲)
43	32	5	6	0	7

⑤契約準備件数(平成 19 年 3 月末現在)

合計	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他
10	9	1	0	0

(地域福祉権利擁護事業の対象拡大⇒福祉サービス利用援助事業相談件数)

合計	高齢者	身体障害者	その他
54	30	23	1

成年後見制度利用支援

①成年後見制度の内容活用方法の説明や申立て支援

合計	高齢者	障害者	その他
480	413	50	17

\* 家庭裁判所八王子支部への申立同行支援2回を含む(本人申立1回、市長申立1回)

出典：平成 18 年権利擁護センターふちゅう事業報告書

#### IV 府中市のバリアフリーに関する現状

現在の府中市のバリアフリーの進捗状況を把握するため、福祉のまちづくりとして府中市で進められている各種施設のバリアフリーの現状についてまとめる。

##### 1 公共施設

(1) 市立施設におけるバリアフリーの状況

- 市内公共施設では、「入り口段差なし」は 100%の施設で、「障害者用トイレの手すり設置」、「エレベーターの車いす専用操作盤」も 97%の施設で整備が完了している。
- 次いで、「エレベーターの音声・点字表示」、「視覚障害者誘導ブロック」の整備率が高く、現在までに8割以上の施設に、「身体障害者用駐車場」は7割以上の施設に整備されている。

図表：市立施設におけるバリアフリーの状況(府中市)

	身体障害者用駐車場	入口段差		視覚障害者誘導ブロック	身体障害者用トイレ	エレベーター	
		設置	段差なし スロープ設置			車いす専用操作盤	音声・点字対応
1 市役所	複数	○	○	○	○	○	○
2 市役所北第2庁舎		○	○	○	○	○	○
3 中央文化センター	○	○	○	○	○	○	○
4 白糸台文化センター	○	○	○	○	○	○	○
5 西府文化センター	○	○		○	○	○	○
6 武蔵台文化センター	○	○		○	○	○	○
7 新町文化センター		○	○	○	○	○	○
8 住吉文化センター	○	○		○	○	○	○
9 是政文化センター	○	○		○	○	○	○
10 紅葉丘文化センター	○	○		○		○	○
11 押立文化センター	○	○		○	○	○	○
12 四谷文化センター		○		○	○	○	○
13 片町文化センター		○		○	○	○	○
14 ふれあい会館		○			○	○	○
15 心身障害者福祉センター	複数	○		○	○	○	○
16 生涯学習センター	複数	○	○	○	○	○	○
17 保健センター	○	○		○	○	○	○
18 保健センター分館	○	○		○	○	○	○
19 女性センター		○		○	○	○	○
20 市民聖苑	複数	○		○	○	○	○
21 美術館	○	○		○	○	○	○
22 中央図書館	○	○	○	○	○	○	○
23 教育センター	○	○		○	○	○	○
24 総合体育館	○	○	○		○	○	
25 グリーンプラザ		○	○		○	○	○
26 グリーンプラザ分館	○	○		○	○	○	○
27 府中の森芸術劇場	複数	○	○	○	○	○	○
28 郷土の森(博物館)	複数	○			○	○	
29 郷土の森(やすらぎ亭)	○	○			○	○	○
30 子育て支援センター たっち(くるる)	○	○	○	くるる入口まで	○	○	○
31 観光情報センター		○		○	○		
32 介護予防推進センター (いきいきプラザ)	複数	○	○	○	○	○	○
33 リサイクルプラザ 見学コース	○	○	○	○	○	○	○
整備率	75.8%	100.0%	39.4%	84.8%	97.0%	97.0%	87.9%

出典：府中市地域福祉課資料(平成 19 年 3 月現在)

(2)市立小中学校のバリアフリー化の状況

- 現在までのバリアフリー化の状況は、「昇降口入口の段差なし」と「児童用の洋式便座」は100%の学校で整備されている。また、約4割の学校で身体障害者用トイレが整備されている。
- 市立小中学校のバリアフリー工事は、学校の耐震改修工事にあわせて進められており、学校トイレの整備は、平成19・20年度の2ヵ年を目標に全校整備が予定されている。

図表：市立小中学校におけるバリアフリーの状況

	昇降口 入口段差		身体 障害 者用 トイレ	一般トイレ			昇降口 入口段差		身体 障害 者用 トイレ	一般トイレ	
	段差 なし	スロ ープ 設置		手す り 設置	洋式便座 児童 職員		段差 なし	スロ ープ 設置		手す り 設置	洋式便座 児童 職員
1 府中第一小学校	○			○	○	○	○			○	○
2 府中第二小学校	○	○			○		○			○	
3 府中第三小学校	○			○	○	○	○			○	○
4 府中第四小学校	○	○	○		○	○	○			○	○
5 府中第五小学校	○				○		○			○	
6 府中第六小学校	○	○			○	○	○			○	○
7 府中第七小学校	○			○	○		○			○	
8 府中第八小学校	○				○		○			○	
9 府中第九小学校	○	○			○	○	○			○	○
10 府中第十小学校	○	○	○	○	○	○	○			○	○
11 武蔵台小学校	○				○		○			○	
12 住吉小学校	○			○	○		○			○	
13 新町小学校	○				○		○			○	
14 本宿小学校	○	○	○	○	○	○	○			○	○
15 白糸台小学校	○				○	○	○			○	○
16 矢崎小学校	○	○		○	○		○			○	○
17 若松小学校	○	○	○	○	○	○	○			○	○
18 小柳小学校	○				○	○	○			○	○
19 南白糸台小学校	○				○		○			○	
20 四谷小学校	○	○			○	○	○			○	○
21 南町小学校	○	○			○	○	○			○	○
22 日新小学校	○				○		○			○	
23 府中第一中学校	○				○		○			○	○
24 府中第二中学校	○	○	○	○	○	○	○			○	○
25 府中第三中学校	○	○	○	○	○	○	○			○	○
26 府中第四中学校	○				○	○	○			○	○
27 府中第五中学校	○	○	○	○	○	○	○			○	○
28 府中第六中学校	○	○	○		○	○	○			○	○
29 府中第七中学校	○	○	○	○	○	○	○			○	○
30 府中第八中学校	○	○	○		○	○	○			○	○
31 府中第九中学校	○	○			○	○	○			○	○
32 府中第十中学校	○				○		○			○	○
33 浅間中学校	○				○		○			○	○
整備率	100.0%	60.6%	39.4%	51.5%	100.0%	63.6%					

出典：府中市地域福祉課資料(平成19年3月現在)

2 トイレ

- 公園は、現在までに市立・都立あわせて10箇所の公園に身体障害者用公衆トイレが設置されている。

図表：身体障害者用公衆トイレ設置状況

	公園名	所在地	近隣目標等
府中市	寿中央公園	寿町2丁目	さくら通り
	小柳公園	小柳町6丁目	現業事務所・小柳コート
	府中公園	府中町2丁目	中央文化センター
	片町公園	片町3丁目	分倍河原駅ロータリー
	矢崎町防災公園	矢崎町1丁目	府中本町駅西
	多摩川南町公園	南町4丁目	都営南町アパート南
	下河原緑道	南町1丁目	
東京都	府中の森公園	浅間町1丁目	
	武蔵野の森公園	朝日町3丁目	東京外語大東
	武蔵野公園	多磨町2丁目	府中運転免許試験場

出典：府中市地域福祉課資料(平成19年3月現在)

- 市内の公共施設、鉄道駅等を中心に、「だれでもトイレ(オストメイト対応施設)」の整備が進められており、現在までに市内26箇所への設置が確認されている。今後は、不特定多数の人が利用する公共施設を中心として、身体障害者用だけでなく、ユニバーサルデザインの考え方に基づいた「だれでもトイレ」の整備が求められている。

「だれでもトイレ」・・・高齢者、車椅子利用者、子ども連れの人、オストメイトの人(人工肛門・人工膀胱保有者)など、だれもが安心して使うことができるよう設計されたトイレ。

図表:だれでもトイレ(オストメイト対応施設)の設置状況

(1)市の施設		設置(確認)年月
府中市役所	1階 中央	平成15年 3月
グリーンプラザ	1階 市民サロン前	平成15年 3月
生涯学習センター	1階	平成15年 7月
女性センター		平成15年10月
観光情報センター	公衆便所 (午前8時～午後8時)	平成17年 5月
府中駅南口第三地区再開発ビルくるる	2階	平成17年 3月
保健センター分館		平成18年 3月
リサイクルプラザ		平成18年 9月
(2)鉄道駅		
JR	府中本町駅	平成14年 3月
	北府中駅	平成17年 2月
	※参考 分倍河原駅 京王線と併用	
京王線	多磨霊園駅	平成16年 6月
	東府中駅	平成16年 6月
	府中競馬正門前駅	平成16年 6月
	府中駅	平成16年 6月
	分倍河原駅	平成16年 6月
	中河原駅	平成16年 6月
西武線	多磨駅	平成17年12月
	競艇場前駅	平成18年 3月
	是政駅	平成17年12月
(3)その他の施設		
榊原記念病院		平成15年12月
東京都市町村研修所		平成16年 8月
泉苑在宅介護支援センター (確認)		平成17年12月
東京都立武蔵野の森公園		平成18年 3月
京王府中ショッピングセンター(午前11時～午後6時)		平成18年 3月
伊勢丹	府中店 6F	平成18年 3月
ホテルコンチネンタル	3F	平成18年10月

\* その他の施設は確認済みのものを掲載

出典:府中市地域福祉課資料(平成19年3月現在)

### 3 商業施設

- 平成5年より府中駅南口の再開発が行われており、高架化した京王線府中駅からは、「くるる」などの商業複合施設のエレベーター・エスカレーター等を利用して地上に出られるバリアフリー化が進んでいる。
- 再開発地区はAからFの6つの地区に分けられており、現在は駅に最も近いA地区において、「府中駅南口 A 地区第一種市街地再開発事業」が進められており、駅から直結したペDESTリアンデッキでつながる複合施設内に、店舗、共同住宅、駐車場等が整備される予定となっている。

### 4 集合住宅

- 中高層建築物に係わる指導実績及び完了確認により、「整備」または「協議により整備」となったバリアフリー化の状況を見ると、平成19年7月時点で建築申請が行われた中高層建築では、「主要な出入口の有効幅1m以上」、「出入口までの段差なし」、「エレベーター」の整備率が高く、半数を超えている。
- 障害者用駐車場は、福祉施設や公益施設を含む中高層建築物全体では半数以上に整備されているが、集合住宅では半数以下となっている。

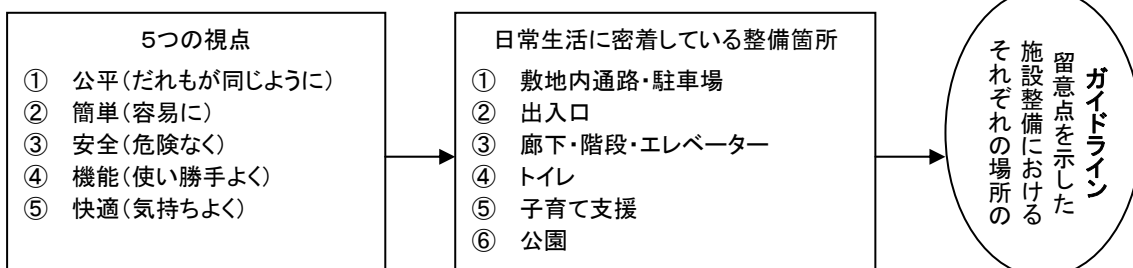
図表:平成 17 年度中高層建築物に係わる指導実績

	総件数	出入口まで		主要な出入口	障害者用駐車場	エレベーター			だれでもトイレ	
		段差なし				設置あり	設置あり			
		スロープ <sup>o</sup> 設置	有効幅1m以上	定員	車いす専用操作盤		点字表示	音声案内	設置基準適用	
中高層建築物	76	58	25	75	43	53	24	17	19	15
整備率	—	76.3%	43.1%	99.0%	56.6%	69.7%	45.3%	32.1%	35.8%	19.7%
うち集合住宅	57	39	19	56	27	36	12	8	6	1
整備率	—	68.4%	48.7%	98.2%	47.4%	63.2%	33.3%	22.2%	16.7%	1.8%

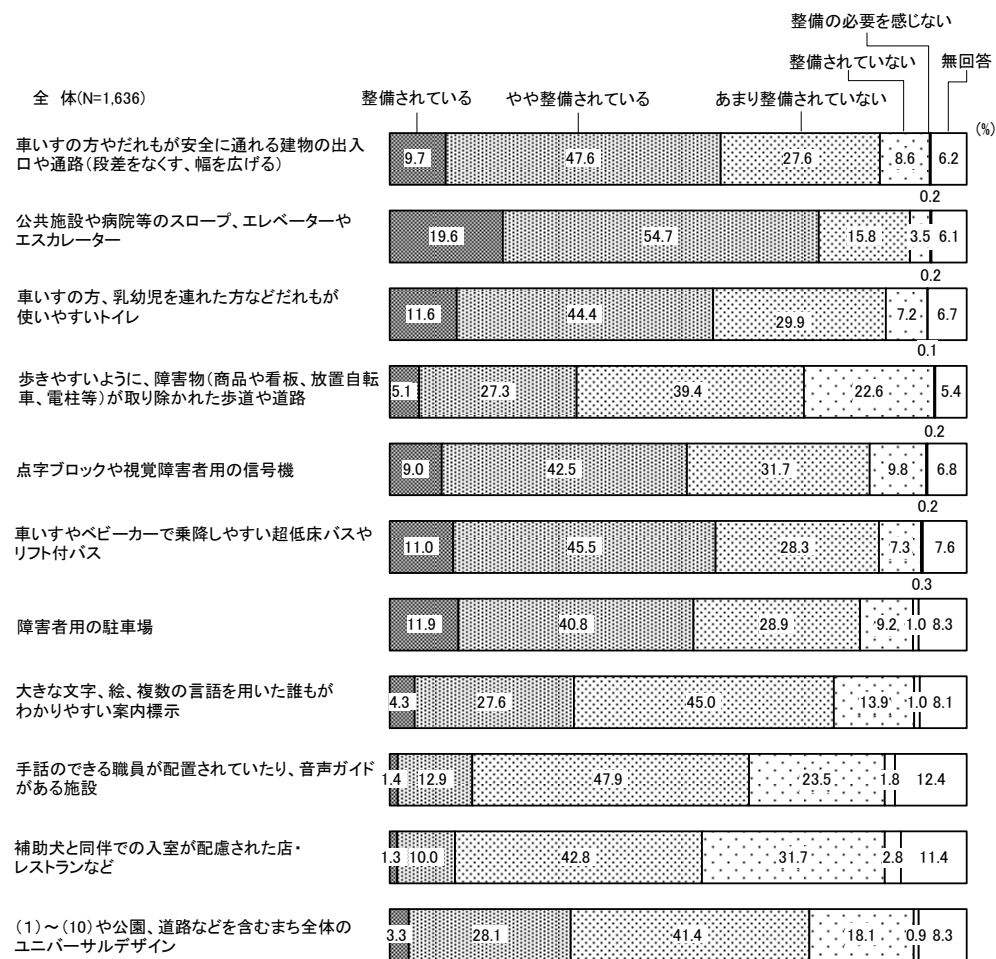
出典:府中市地域福祉課資料

#### 「府中市福祉のまちづくりユニバーサルデザインガイドライン」のあらまし

府中市では、平成 19 年 11 月、ユニバーサルデザインの7つの原則(公平性、柔軟性、単純性と直感性、安全性、認知性、効率性、快適性)や利用者の声の反映など「過程を重視する」といった「ユニバーサルデザイン」の考え方を基本とした福祉のまちづくりを進めるためのガイドラインを発行。



アンケート調査問 14・ユニバーサルデザイン評価の結果と照らし合わせ





# 〇府中市の地域福祉・福祉のまちづくりをとりまく現況と課題のまとめ

## 背景と動向

### ●地域福祉をとりまく制度の動向

- ・「府中市福祉のまちづくり推進計画」は、「府中市福祉のまちづくり条例」に定められた推進計画
- ・「府中市地域福祉計画」における福祉のまちづくり分野に関する事業計画として策定
- ・策定にあたり国・都の法制度との整合

### ●府中市総合計画(上位計画)



### ◎府中市福祉計画

府中市における福祉推進の考え方と施策の方向、具体的施策を総合的に示す計画



- (個別計画)
- ・地域福祉計画・福祉のまちづくり推進計画
- ・障害者計画・障害福祉計画
- ・高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画
- ・次世代育成支援行動計画

### (地域福祉・福祉のまちづくりに関する関連法制度)

- ・社会福祉法
  - ・障害者基本法
  - ・府中市福祉のまちづくり条例
  - ・高齢者、障害者、次世代育成に関する法制度
- など

### (地域福祉・福祉のまちづくりに関する関連計画)

- ・第2次府中市住宅マスタープラン
- ・府中市都市計画マスタープラン
- ・ユニバーサルデザインガイドライン
- ・府中市交通バリアフリー基本構想
- ・ユニバーサルデザインガイドライン(東京都/平成17年)
- ・ユニバーサルデザイン政策大綱(国土交通省/平成17年)

## 府中市の地域福祉・福祉のまちづくりの現況

### ●福祉をとりまく府中市の現況

- ・少子・高齢化が続き、世帯数は増加、世帯人員は減少傾向
- ・高齢化率は年々高くなっており、後期高齢化率は5.7%
- ・平成17年には合計特殊出生率は1.2人を下回っており、少子化傾向は着実に進行
- ・身体・知的・精神障害者と難病患者を合わせて延べ1万人超、重複障害を含む障害者の延べ人数は年々増加
- ・障害の種類別では身体障害のある人が最も多く、平成18年度では約7千人
- ・子育て期の女性のライフスタイルの変化により仕事をもつ人が増えていることがうかがえる

### ●市民活動の現況

- ・市内には、約400の町内会・自治会があり、全体で7万以上の世帯が加入
- ・市内の老人クラブは100団体近くあり、加入者数は約7千500人に上る。女性の加入者数が多く、男性の約1.8倍が加入
- ・社会福祉協議会を中心に、地域における住民相互の見守り・助け合い活動の実現を進めるための小地域ネットワークづくりが進行
- ・高齢者在宅介護支援センターを拠点とした、「府中市高齢者見守りネットワーク」(「危機去れ」システム)構築に取り組み中
- ・市内で活動するボランティア団体は高齢者、障害者、児童関連の団体が多く、42団体が府中市ボランティアセンターに登録し、活動

### ●新たな福祉課題への対応、各種相談の現況

- ・生活保護世帯数・人員とも増加傾向にある。全国的にみても孤立死、高齢者虐待、児童虐待、消費者被害、災害時要援護者支援が課題
- ・地域包括支援センターでは、高齢者やその家族に対する総合的な相談・支援を行っており、日常生活相談が最も多い
- ・権利擁護に関する相談は、高齢者が多い。地域福祉権利擁護事業は相談件数は多いが利用に結びついていない

### ●バリアフリーに関する現況

- ・不特定多数の人が利用する公共施設を中心に、ユニバーサルデザインの考え方に基づいた「だれでもトイレ」の整備がさらに必要

## アンケートからみた傾向・課題

### 【質問ごとの傾向・地域別の傾向】

- 地域活動・ボランティア活動
    - ・一般市民の地域活動やボランティア活動、地域の行事の参加はやや非活発
    - ・近所に子育て家庭・高齢者・障害者など困っている家庭があった場合、したい手助けは、「安否確認の声かけ」
  - 相談・情報
    - ・地域で相談したり頼ったりできる場所は「行政の相談窓口(25.7%)」、「近所(市内在住)(25.4%)」、「かかりつけ医や保健師など医療関係者(22.9%)」など
    - エリア別では、住まいの近くにある施設・相談機関への相談は利用が多いが、遠方では利用も認知度も低い
  - まちと心のバリアフリー
    - ・福祉のまちづくりに対する評価は、『公共施設や病院等のスロープ、エレベーターやエスカレーター』がもっとも高い
  - 満足度
    - ・買い物や交通面では高いが、サークルやボランティア、地域交流では低い。
  - 福祉に対する考え方
    - ・『障害のある人となない人がともに生きるのが当然の姿』と思う市民が8割超
  - 福祉に対する考え方
    - ・「福祉サービスに関する情報提供を充実する」、「的確な相談が受けられるようにする」、「退職後の人々が地域活動で力を生かせる機会を増やす」
- ◎自由回答から  
新旧住民のつきあい、交流を増やす必要があるとの指摘が特徴的

### 【共通質問の傾向】

- ・地域活動への参加度は高齢者が高く、男女若年層、障害のある人、難病患者などで低い。これらの層の地域活動への取込みが地域福祉のインフラづくりにつながる。
- ・参加している地域活動の種類を見ると、性・年齢別、障害の有無などで大きな違い。これらの違いは主としてライフステージによるものと身体の自由度による。
- ・活動の周知や入りやすい環境を整えることなどを通じて、男女、年齢、障害や病気の有無に関係なく、参加したい活動には参加できるような仕組みを整備していく必要がある。

## 地域福祉計画の理念の実現

— みんなでつくる、ひとにやさしいまちづくり —

- 利用者本位のサービスの実現
- 安心して安全に暮らせるまちづくり
- いきいきと暮らせるまちづくり
- 支え合いのまちづくり

## 計画推進の課題(案)

- 誰もが質の高いサービスを利用できるために
  - ・新しい情報提供のあり方の必要性(アクセスの確保)
  - ・地域に密着した相談体制の整備
- いきいきと暮らせるまちづくりのために
  - ・地域活動のきっかけづくり
  - ・団塊の世代の健康・生きがいづくり
  - ・新しい人材育成のしくみづくり
- 身近な地域での支え合いのまちづくりのために
  - ・地域での助け合いのネットワークづくり
  - ・地域での新たな関係づくりの機会創出
- 安心、安全に、誰もが暮らせるまちづくりのために
  - ・制度の狭間にある市民の支援
  - ・緊急、自立支援のセーフティネット
  - ・災害弱者への対応
- みんなで進める人にやさしいまちづくりのために
  - ・人権の尊重
  - ・ユニバーサルデザインの促進
  - ・福祉のまちづくりの啓発・教育(学校教育との連携)
  - ・災害時の不安への対応、早急なしくみづくり

## 福祉計画アンケート調査からみえた課題(例)

- 高齢者分野
  - ・介護予防の推進/住民相互の協力関係づくり
  - ・制度改正の影響への対応/居宅サービス利用者の満足度向上
  - ・新たな入居施設や住まいの検討
  - ・サービス利用意向を適切なサービスにつなぐ支援
  - ・人材確保・育成に向けた取り組み、事業者の運営の安定に向けた支援
- 障害者分野
  - ・潜在化するニーズの点検/就労機会の創出
  - ・いわゆる「福祉的就労」の底上げ/サービス事業者等体力強化への支援
  - ・「災害弱者」「犯罪弱者」を出さないシステムの構築
  - ・ノーマライゼーションの推進/障害者関係団体の活動の活性化
  - ・難病患者への経済的支援